

今夜7じより  
西成市民館3階  
毎週金曜日

みんなてつころう  
みんなの会館!  
夜間学校に多くの  
仲間の参加を!

# 夜間学校ニユ

釜ヶ崎夜間学校  
西成区築港2-5-23  
開放会館2階  
釜日労・争議団 共付

## ワシらの街ニ釜ヶ崎の

### 『過去と現在』(一)

この街はワシらの先輩の無数の労働者が  
つくりあげてきた。この街には先輩労働者  
たちの生活の跡が年輪のように文々木々  
まみれている。

現在、ここ釜ヶ崎では、吹  
きさらぎ風のもとで、反動  
中層階級の内閣の豊松・福社切り  
すてによってアブレを強いら  
れている多くの仲間達が、炊  
き出しとアオカンによってか  
ろうじてその露命をつないで  
いる。なぜ、ワシらはこの様

に苦しめられ、踏みつけに  
まこれぬばならないのか。二  
の現像を打ち破るためには  
どの様な斗いが必要なのか。  
これは、多くの仲間がいた  
いている歴固だろう。

らいた街だ。苦しい生活  
と、ささやかな楽しみと、  
そして雄々しい斗いがく  
りひろげられた街だ。か  
の共闘動はこの釜ヶ崎で  
最初ののろしがあがった。  
一九六一年夏の「人権暴動」は  
高度経済成長に浮かれて  
いた資本家や役人やホリ  
公をぶるえながら奮起。  
そして七〇年代寄せ場  
働者の実力現場争いは労  
働運動の新たな地平を切  
り拓くものだった。

現在、ワシらは、新た  
な斗いを再構築するその  
出発点に立っている。こ  
のワシらの街釜ヶ崎を地  
点として新たな斗いをつ  
くりあげていくために、  
今一度、ワシらの街の  
歴史を、ここで生き、斗  
い、そして死んでいった  
無数の先輩労働者達  
の生活の跡をたどって  
見ることは必要なこと  
ではないだろうか。  
役人達が書いた釜の  
歴史や調査もないわけ  
ではない。しかしそこ  
では常に、主人公であ  
るはずの労働者の苦し  
み、悲しみ、楽しみは  
無視されている。今、必  
要なのは、ワシら自身  
でワシらの街の歴史を  
掘りかき出すことだ。役  
人の歴史ではなく、ワ  
シら自身の歴史を。そ  
こから、新たな歴史をつく  
りあげてゆくために。